



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第13巻  
第4号) 編集後記・購読要項・投稿  
内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第13巻第4号) 編集後記・購読要項・投稿内  
規. 泌尿器科紀要 1967, 13(4): 350-350

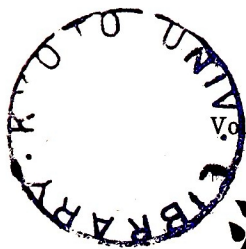
ISSUE DATE:

1967-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113123>

RIGHT:



製本

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 13 巻 第 4 号

昭和 42 年 4 月

BNC

随想・就任所感	加藤 篤二	263
泌尿器腫瘍と酵素		
1. 実験的ラット前立腺腫瘍における LDH, ALP 活性, LDH isozyme の変動 ならびに諸種ホルモンのこれらに及ぼす影響について	加藤 篤二・石部 知行・福重 満	265
男子副性器分泌物と酵素		
I. 不妊患者精液と酵素	石部 知行	276
男子副性器分泌物と酵素		
II. 不妊患者精液酵素活性におよぼす 19-Methylandrostan-17- $\beta$ -ol-5-on の影響	石部 知行・田戸 治	283
泌尿器科領域の悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症について	高橋 陽一・宮川美栄子	290
膀胱腫瘍治療に関する 1 考察		
.....エクマン, ハンス・中新井邦夫・スンディン, トルステン		302
術後紅皮症の 1 例	親松 常男・塩崎 洋・松岡 俊介	308
陰茎折症の 1 例	藤田 幸雄・稲葉 穂・勝見 哲郎・宮崎 公臣	315
陰嚢部に発生せる尿瘻癌の 1 例	茶幡 隆之・石部 知行	318
交叉性睾丸転位症の 2 例	酒徳治三郎・北山 太一・山下 翁世	321
上部尿路結石症に対する Camalon (Cyclopentaphen) の治験	杉浦 式・伊藤 栄彦・長谷川 進	326
泌尿器科領域における AP-2 顆粒の臨床使用経験	稲田 務・高山 秀則・岡田謙一郎・原田 卓	339
泌尿器科領域におけるベンチル注の使用経験	稲田 務・北山 太一・三宅ヨシマル	344
編集後記・購読要項・投稿内規		350

## Urological Neoplasms and Enzymes.

I. Changes of LDH and ALP Activities and LDH Isozyme in Experimental Prostatic Neoplasms in Rat and Effects of Various Hormones upon these Enzyme Activities.	T. Kato, T. Ishibe and M. Fukushima	265
Male Adnexal Organ Secretion and Enzymes.		
I. Seminal Fluid in Patients with Sterility and Enzymes.	T. Ishibe	276
Male Adnexal Organ Secretion and Enzymes.		
II. Effect of 19-methylandrostan-17- $\beta$ -ol-5-on on Enzyme Activity of Seminal Fluid in Patients with Sterility.	T. Ishibe and O. Tado	283
Hypercalcemia Accompanied with Malignant Neoplasm.	Y. Takahashi and M. Miyakawa	290
Some Aspects of the Treatment of Urinary Bladder Tumours.	H. Ekman, K. Nakaarai and S. Torsten	302
Erythrodermia Postoperativa : Report of a Case.	T. Oyamatsu, H. Shiozaki and S. Matsuoka	308
A Case of Fracture of the Penis.	Y. Fujita, M. Inaba, T. Katsumi and K. Miyazaki	315
Carcinoma Arising from Urinary Fistula on the Scrotum : Report of a Case.	T. Chabata and T. Ishibe	318
Transverse Ectopic Descent of the Testicle : Presentation of Two Cases.	J. Sakatoku, T. Kitayama and A. Yamashita	321
Clinical Experiences on use of "Camalon (Cyclopentaphen)" for Upper Urinary Lithiasis.	H. Sugiura, H. Ito and S. Hasegawa	326
Clinical Use of "AP-2 Granula" in the Field of Urology.	T. Inada, H. Takayama, K. Okada and T. Harada	339
Clinical Use of "Bentyl" in the Field of Urology.	T. Inada, T. Kitayama and Y. Miyake	344

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine.

Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tokuji KATO

## 編 集 後 記

前主幹は定評のある評論家であられるだけに、文筆も豊かにまた号を壺青としてよき俳句をものせられ、いつの号にも秀れた後記を掲載されております。何れこれらは随想集として発刊される筈であります。

翻って筆者はこの方面の文筆に拙く編集後記は従って最も難物の一つと考えております。それで当分は簡略を旨として、主に随想の終りに述べた如く、内容の方に力を注ぎたいと考えておりますから御諒承の程を願っておきます。なお本号では残留の原著を取り敢えず載せましたが次号よりはざん新の原著をどしどし御投稿下さいますようお願い致します。（昭和42年4月）

### 購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

### 投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用難字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例. 1) 中野：泌尿紀要, 1: 110, 昭30. 2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳す法。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第4号

定価150円

昭和42年4月25日 印刷

昭和42年4月30日 発行

顧 問 稲 田 務  
編集発行人 加 藤 篤 二  
発 行 所 泌尿器科紀要編集部  
京都市左京区 聖護院 川原町 53  
京都大学医学部泌尿器科学教室内  
電 話 ㊦ 8111 学 内 5806  
印 刷 所 山代印刷株式会社  
京都市上京区寺之内通小川西入